

議会運営委員会要点記録

○開会日時 令和3年9月2日(木) 午前10時16分

○場 所 伊東市役所第2委員会室

○出席委員 6名

1 番 佐藤 周 君 2 番 青木 敬博 君

3 番 四宮 和彦 君 4 番 長沢 正 君

5 番 大川 勝弘 君 6 番 重岡 秀子 君

○出席議員 3名

議 長 宮崎 雅薫 君 副議長 中島 弘道 君

議 員 井戸 清司 君

○オブザーバー 2名

議 員 石島 茂雄 君 議 員 浅田 良弘 君

○出席議会事務局職員 3名

局 長 富士 一成 局長補佐 森田 洋一

係 長 鈴木 綾子

○会議に付した事件

- 1 一般質問について
- 2 その他

○会議の経過概要

○委員長(長沢 正君)開会する。

○委員長(長沢 正君)日程第1、一般質問についてを議題とする。

事務局長から説明いたさせる。

○事務局長(富士一成君)日程1の一般質問についてを説明させていただく。8月31日に石島議員から、一般質問を取りやめたい旨の申入れがあった。8月25日の本委員会では実施することだったので、9月14日(火)の議事日程を、一般質問を2人実施し、午後から議案審議となる旨の説明をしたが、取りやめとなると、一般質問1人実施後の休憩明け、11時から議案審議となる議会日程に変更することとしたいと思う。以上である。

○委員長(長沢 正君)それでは、一般質問について、質疑、意見を伺う。発言を許す。

○1番(佐藤 周君)今、取りやめとの説明があったが、何か特別な理由があったのか。

○委員長（長沢 正君）暫時休憩する。

午前10時17分休憩

午前10時19分再開

○委員長（長沢 正君）休憩前に引き続き、会議を開く。

○2番（青木敬博君）重複した質問が二、三問あったとしても、ほかにはなかったのか。

○オブザーバー（石島茂雄君）休憩中に説明したとおり……。

○委員長（長沢 正君）暫時休憩する。

午前10時20分休憩

午前10時24分再開

○委員長（長沢 正君）休憩前に引き続き、会議を開く。

ほかに質疑、意見はないか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長沢 正君）質疑、意見なしと認め、質疑、意見を終結する。

一般質問については、説明のとおり決定することにご異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長沢 正君）ご異議なしと認め、さよう決定した。

以上で、日程第1、一般質問についてを終了する。

○委員長（長沢 正君）日程第2、その他についてを議題とする。

事務局からはないとのことであるが、委員から何かあれば質疑、意見を伺う。発言を許す。

○議長（宮崎雅薫君）先ほど、代表者会議を開催し、この件についての意見をいただいた。先ほどの休憩中に、佐藤委員や青木委員からも意見があった内容と重複するところがあるが、代表者会議の中で出された意見について報告させていただく。

議会日程というものは、非常に重要なものであり、個人の都合によって決められるものではない。自己都合によって勝手にやめたり、追加してくれというのは議会運営としてはあり得ないことであり、懲罰の対象となるような事案であるというような意見。それから、やめるに当たっては、議会運営委員会での決定を軽視しているのではないか。議員になってからのこの2年間の中でいろいろなことがあったが、会派に所属していないので、教える人がいないということもあるが、2年間経験している中でしっかりとした判断をしてもらいたい。議事日程というものにしっかりとした認識がなく、許可されるということ——いいのではないかというこ

とで、議会事務局のほうに話をして、相談にも乗ったということである。やはり、議事日程の変更は個人だけのものではなく、意見の中でもあったように、議会全体の話であるので、その辺のところを改めて認識していただいて、謝罪なりを求めたいという意見があった。議長としてもそのように感じているので、今の意見や議運での意見を聞いて、謝罪をしていただきたいと思う。

- 委員長（長沢 正君）今の議長からの提案について、意見はあるか。
- 6番（重岡秀子君）謝罪ということであるが、しっかり本人が、今の意見を聞いてどういうふうにしたいのかを求めたいと思う。これからのこともあるので、どう受け止めたかを聞かないと。
- 委員長（長沢 正君）暫時休憩する。

午前10時29分休憩

午前10時29分再開

- 委員長（長沢 正君）休憩前に引き続き、会議を開く。
先ほどの議長からの提案について、回答願う。
- オブザーバー（石島茂雄君）取りやめについては、事務局に相談する中で、私自身は手順を踏んでいると認識していた。副議長に申し出てくれということであり、それで了承されたので、私としては手順を踏んでいるつもりであった。仮にであるが、最初に相談した時点で、議事日程を自己都合で変えることが重たいことであるということが分かっていたら、質問が重複してでも行うことはできたが、先ほど言ったとおり質問するというスタンスのために時間を使うべきではないと考えた。
今、この話を聞いて、ことの重さを痛感したので、今後気をつけなければいけない、議員活動に生かしていかなければいけない、そういう認識をした。これ以上でも以下でもないので、反省すべきところは反省して、これからしっかりやっていきたいと思う。
- 委員長（長沢 正君）今の話を聞いて、ほかの委員から意見はあるか。
- 1番（佐藤 周君）手順を踏んで——一般質問を取りやめると事務局への申出をしたということであるが、それはそれでいいが、そういうことがないように準備を進め、前回の本委員会で、一般質問を行いたいという報告をした中で、議会というのは進んでいくのではないか。私もまだ2年間しか経験がないが、私はそういう意識で行動をしているという中で、手順を踏んだといえばそうなのかもしれないが、なんとなくモヤモヤした感じを私自身は持っている。
- 6番（重岡秀子君）当局とのヒアリングの中で、ほかの議員とあまりにも重複して答弁が全く同じになってしまうので、この質問を取り下げるといえるのはある。私が言いたいのは、佐藤委

員も準備をしておくべきであったと言ったが、昨日の朝であったので、別の質問に切り替えるなどの時間はあった。私も相談を受けていたこともあり、助言もした。ヒアリングをしていく中で、あまりにも同じような質問であり消えることはあると思う。新人議員の場合はなかなかそれを別の質問にするなどは難しい場合もあると思う。ただ、やはり時間的な余裕もあったので、自分がやると言ったことに対してもっと努力して、そういうときにいろいろな人に相談をしたりということで、事務局のほうもそういうアドバイスをしていただきたい。簡単に人と重なったからやめますというのはよくないと思う。

○**議長**（宮崎雅薫君）事務局の対応や正副議長の対応もあったと思うが、受け取り方の問題もあったと思う。今回の問題については議会日程の変更ということである。質問の中身ということではない。そういうのは今、重岡委員が言ったように、ほかの人が聞いているから同じ回答になってしまうというのは、あくまでも自分の質問内容の変更である。これは個人の裁量であるが、質問をやめるとなると議会日程に影響が出る。その辺の認識というのが少し甘くなってしまったということが、本来は皆さんに諮らなければいけない。代表者会議は議長の諮問機関であり、議会の運営などの機関としては議会運営委員会があるので、その辺の決定事項については、自己都合だけで簡単には変えられない。変えるためにはこれだけの人を集めなければならない、この決定で変更しなければいけないという認識はぜひ持っていただき、今後の議員活動をしていただきたい。

○**2番**（青木敬博君）日程を変えることについては先ほど決定したが、今、決めることは謝罪の方法ということでよいのか。謝罪をここで行うのか、それとも議場で行うのかというのをこの委員会で決めるのか。

○**委員長**（長沢 正君）委員長の立場として、先ほどの石島議員の発言を聞いたが、やはり認識の甘さがあったということであったが、皆さんの意見を聞いてこれから改めなければいけない、申し訳なかったという謝罪があったので、この場で私はよいかと思うが、ほかの意見がある方はいるか。

○**オブザーバー**（浅田良弘君）石島議員が深く反省しているということは分かった。ただ、議運という決定機関で決まったことを個人の都合で覆すということは、今後の本委員会の運営に関しても決まったことを覆しても大丈夫であろうという認識で捉えられてしまうと、議会運営に支障をもたらすということになる。今回、石島議員は順番が最後であり、議案審議の時間が前にずれるということだけだからいいということではなく、ここに出席していない議員もいる。本来は懲罰に値することに近いようなことをやっているのだから、新人であり、また、周りに注意するような人もいないということであれば、議場で今回の一般質問を取りやめた理由と謝罪をしてもらうのが筋ではないかと私は思っている。

○5番（大川勝弘君）いろいろな意見があったが、議事日程を動かした重さはあるが、あくまで議運の中の話であり、議場は関係ないと私は思う。同じことを繰り返すならば、議場での謝罪も必要だとは思いますが、今回はこの場の謝罪で十分ではないかと思う。

あと、コロナのことを考えて質問をやらない場合は、議運の前には決めなくてはいけない。6月の定例会の際には私もそうした。なるべく負担をかけないよう短くすると判断をした議員もいるので、そういうのを参考にして、また同じことを繰り返さない。繰り返すのであれば議場での謝罪も必要なのかもしれないが、今回はこれで十分ではないかと思う。

○1番（佐藤 周君）先ほどの浅田議員からの話で、私も改めて議運の重さというのを再認識した。今回は、質問の順序が一番最後であったので、議案審議を前にずらすだけだったというのは結果的な話であって、議事日程を変えるというのは重たいことなのだと改めて認識した。

○議長（宮崎雅薫君）個人的な見解を述べさせていただく。先ほど謝罪と弁明があったが、佐藤委員がおっしゃっていたが、どうもしっくりこない。謝るべきところはしっかりと謝っていただく。理由はよく分かったが、その辺のところが態度が煮え切らないというようなことだと思うが、議場での謝罪となると、これは懲罰事案ということ以外は、私の記憶する限りでは伊東市議会ではないので、大川委員の言うように、この場での謝罪ということで。今回の件は石島議員も十分に反省をしていただいたと思うので、今後はこのようなことがないようにお願いしたい。これはほかの議員も同様である。

○事務局長（富士一成君）事務局の対応について謝罪させていただく。石島議員から質問を取りやめたいとの申出があり、議会運営委員会の決定であり、委員会で諮るということをしっかりと本人に説明する中で、取りやめていただくとの説明が必要であったと今、認識している。今回の対応については、不手際があり大変申し訳なかった。

○副議長（中島弘道君）私が今回、石島議員から申出を受けた。今、事務局長が言ったように、議事日程に変更がないのでよいのではないかという判断をしまい、改めて反省するところである。その申出後、各会派に報告に行く中で、それはまずいのではないかと意見のいただき、代表者会議と議会運営委員会を開催することとなった。私も改めて反省させていただく。

○オブザーバー（石島茂雄君）全て私の不徳の致すところ、そして認識不足である。個別にはいろいろなことを相談しているが、無党派なので相談する相手もいなかった。こういうことについても改めて認識したので、この件に関しては全て私の責任である。本当に申し訳なかった。

二度とこういうことは起こさないと心に誓ったので、今後とも議会活動を頑張っていきたいと思う。よろしく願います。

○委員長（長沢 正君）ほかに質疑、意見はないか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長沢 正君）質疑、意見なしと認め、質疑、意見を終結する。

以上で日程第2、その他を終了する。

○委員長（長沢 正君）以上で日程全部を終了した。

これにて閉会する。

○閉会日時 令和3年9月2日（木）午前10時45分（会議時間23分）

以上の記録を認める。

令和3年9月2日

委員長 長 沢 正